

中学校 美術

解答についての注意点

- 1 解答用紙は、マーク式解答用紙と記述式解答用紙の2種類があります。
- 2 大問 **1**、**2** については、マーク式解答用紙に、大問 **3**、**4** については、記述式解答用紙に記入してください。
- 3 解答用紙が配付されたら、まずマーク式解答用紙に受験番号等を記入し、受験番号に対応する数字を、鉛筆で黒くぬりつぶしてください。
記述式解答用紙は、全ての用紙の上部に受験番号のみを記入してください。
- 4 大問 **1**、**2** の解答は、選択肢のうちから、**問題で指示された解答番号**の欄にある数字のうち一つを黒くぬりつぶしてください。
例えば、「解答番号は 」と表示のある問題に対して、「**3**」と解答する場合は、解答番号 の欄に並んでいる ① ② ③ ④ ⑤ の中の ③ を黒くぬりつぶしてください。
- 5 間違っぬりつぶしたときは、消しゴムできれいに消してください。二つ以上ぬりつぶされている場合は、その解答は無効となります。
- 6 その他、係員が注意したことをよく守ってください。

指示があるまで中をあけてはいけません。

1 (1)～(7)は、「中学校学習指導要領」(平成29年3月告示)に関する内容である。次の(1)～(7)の問いに答えよ。

(1)「中学校学習指導要領 第2章 第6節 美術 第2 各学年の目標及び内容〔第1学年〕
1 目標(3)」について、【①】～【④】に入る語句の組合せとして正しいものはどれか。
1～4から一つ選べ。解答番号は

【①】美術の活動に取り組み【②】の喜びを味わい、美術を愛好する心情を【③】、
心豊かな生活を創造していく【④】を養う。

	①	②	③	④
1	主体的に	制作活動	深め	情操
2	楽しく	創作活動	理解し	見方や感じ方
3	主体的に	表現活動	育み	見方・考え方
4	楽しく	創造活動	培い	態度

(2)「中学校学習指導要領 第2章 第6節 美術 第2 各学年の目標及び内容〔第2学年及び
第3学年〕2 内容 A 表現(2)ア」について、【①】～【④】に入る語句の組合せとして
正しいものはどれか。1～4から一つ選べ。

解答番号は

ア 発想や構想をしたことなどを基に、表現する活動を通して、【①】に関する次の事
項を身に付けることができるよう【②】する。

(ア) 材料や用具の特性を生かし、【③】自分の表現方法を追求して創造的に表すこと。

(イ) 材料や用具、表現方法の特性などから制作の順序などを総合的に考えながら、【④】
表すこと。

	①	②	③	④
1	知識及び技能	考慮	主題を生み出し	計画を立てて
2	技能	指導	意図に応じて	見通しをもって
3	知識・理解	配慮	見通しをもって	主題を生み出し
4	技能	支援	試行錯誤して	意図に応じて

(3)「中学校学習指導要領解説 美術編」における「中学校学習指導要領 第2章 第6節 美術 第2 各学年の目標及び内容〔第2学年及び第3学年〕2 内容 B 鑑賞(1)イ(1)」に関する解説に記載されている内容について、次の各文のうち誤っているものはどれか。1～4から一つ選べ。解答番号は

- 1 日本の美術作品や受け継がれてきた表現の特質などとは、日本の美術の時代的な大まかな流れと表現の特質、作品に見られる各時代の人々の感じ方や考え方、作風などを示している。
- 2 伝統や文化のよさや美しさを感じ取り愛情を深めるとは、独自の文化を生み出してきた日本の美術文化のよさを感じ取り十分に味わい、よきものとしてそれらの愛情を深めることである。
- 3 諸外国の美術や文化との相違点や共通点に気付くとは、国や地域、民族によって、美術の表現の主題、描写、材料など表現方法や造形感覚に相違があることに気付かせるとともに、美にあこがれる人間の普遍的な心情など、その共通性にも目を向けさせ、諸外国の美術や文化と対比させることにより、日本の美術が優れたものであると気付かせることである。
- 4 美術文化の継承と創造について考えるとは、伝統の中にこれからの時代にとって価値あるものを見だし、現在に至るまでなぜ大切に残されてきたのかについて考え、更に一人一人の手で継承し新たな価値や文化を積極的に創造していこうとする気持ちをもたせることである。

(4)「中学校学習指導要領解説 美術編」における「中学校学習指導要領 第2章 第6節 美術 第3 指導計画の作成と内容の取扱い 1(1)」に関する解説に記載されている内容について、次の各文のうち誤っているものはどれか。1～4から一つ選べ。解答番号は

- 1 着実に取り組まれてきた実践を否定し、全く異なる指導方法を導入しなければならないと捉えるのではなく、生徒や学校の実態、指導の内容に応じ、「主体的な学び」、「対話的な学び」、「深い学び」の視点から授業改善を図ることが重要である。
- 2 学びの深まりをつくりだすために、生徒が考える場面と教師が教える場面をどのように組み立てるか、といった視点で授業改善を進めることが求められる。
- 3 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を進めるに当たり、特に「深い学び」の視点に関して、各教科等の学びの深まりの鍵となるのが「共通事項」である。
- 4 言語活動の充実を図ることで、お互いの見方や感じ方、考えなどが交流され、新しい見方に気付いたり、価値を生み出したりすることができるようになる。

(5)「中学校学習指導要領解説 美術編」における「中学校学習指導要領 第2章 第6節 美術 第3 指導計画の作成と内容の取扱い 1(6)」に関する解説に記載されている内容について、次の各文のうち誤っているものはどれか。1～4から一つ選べ。解答番号は

- 1 通常の学級においても、発達障害を含む障害のある生徒が在籍している可能性があることを前提に、全ての教科等において、一人一人の教育的ニーズに応じたきめ細かな指導や支援ができるよう、障害種別の指導の工夫のみならず、各教科等の学びの過程において考えられる困難さに対する指導の工夫の意図、手立てを明確にすることが重要である。
- 2 個々の生徒の困難さに応じた指導内容や指導方法を工夫する際は、美術科の目標や内容の趣旨、学習活動のねらいを踏まえ、学習内容の変更や学習活動の代替を柔軟に行うよう留意するとともに、生徒の学習負担や心理面にも配慮する必要がある。
- 3 一人一人が自分に合ったものが選べるように、多様な材料や用具を用意したり種類や数を絞ったり、造形の要素の特徴や働きが分かりやすいものを例示したりするなどの配慮をする。
- 4 学校においては、個別の指導計画を作成し、必要な配慮を記載し、他教科等の担任と共有したり、翌年度の担任等に引き継いだりすることが必要である。

(注)

大阪府では、「障害」という言葉が、前後の文脈から人や人の状態を表す場合は、「害」の漢字をひらがな表記とし、「障がい」としています。問題中では、法令からの引用部分については、もとの「障害」の表記にしています。

(6)「中学校学習指導要領 第2章 第6節 美術 第3 指導計画の作成と内容の取扱い 2(2)」について、【 】に入る正しい語句はどれか。1～4から一つ選べ。解答番号は

各学年の「A表現」の指導に当たっては、主題を生み出すことから表現の確認及び完成に至る全過程を通して、生徒が夢と目標をもち、自分のよさを発見し喜びをもって【 】態度の形成を図るようにすること。

- 1 自己実現を果たしていく
- 2 主体的に学習に取り組む
- 3 意欲的に表現しようとする
- 4 創意工夫しながら追求していく

(7)「中学校学習指導要領解説 美術編」における「中学校学習指導要領 第2章 第6節 美術 第3 指導計画の作成と内容の取扱い 2(3)」に関する解説に記載されている内容について、次の各文のうち誤っているものはどれか。1～4から一つ選べ。解答番号は

- 1 見たことや思い付いたアイデアなどを描きとめ、イメージを具現化するための発想や構想を練るスケッチでは、必要な情報を選択し、単純化や強調をしながら必要とされる伝達の意図が明確に伝わるように構成することを大切にする。
- 2 ビデオは一枚の絵や写真では表せない時間の経過や動きが生かせる表現であり、その特質を理解させる必要がある。グループで分担を決め学校紹介やコマーシャルをつくったり、動きを連続させて描いた絵をコマ撮りして、短編アニメーションをつくったりすることもできる。
- 3 漫画は、形を単純化し、象徴化、誇張などして表現する絵である。日本では関連するものとして「鳥獣人物戯画卷」や「信貴山縁起絵巻」、江戸時代の人々の生活を漫画風に描いた「北斎漫画」なども残されており、日本の伝統的な表現形式の一つといえる。
- 4 材料の取り上げ方については、小学校での材料体験を基にし、それを活用したり、組合せを工夫したりするなどして、中学校では発展的に取り上げるようにする。また、未体験の材料などに挑戦することも、表現の可能性を広げたり生徒の意欲を喚起したりするために必要である。

2 (1) ~ (4) の問いに答えよ。

(1) 次の①~②について、各問いに答えよ。

① 次のA~Dは点と線、面によって構成された無機質な文様である。次のA~Dとそれぞれの「文様の成り立ち」の【ア】~【エ】に入る語句の組合せとして正しいものはどれか。1~4から一つ選べ。解答番号は

著作権保護の 観点により、 本作品を掲載 いたしません。 出典： 青海波のパターン フリー素材 プチソザイ プチソザイHP	著作権保護の 観点により、 本作品を掲載 いたしません。 出典： 麻の葉のパターン5 フリー素材 プチソザイ プチソザイHP	著作権保護の 観点により、 本作品を掲載 いたしません。 出典： 市松模様のパターン5 フリー素材 プチソザイ プチソザイHP	著作権保護の 観点により、 本作品を掲載 いたしません。 出典： 七宝のパターン フリー素材 プチソザイ プチソザイHP
A	B	C	D

「文様の成り立ち」

- A 舞楽「【ア】」の衣装紋様に由来する。大海原を表す吉祥文様である。無限に広がる波に幸せが未来永劫に続くことへの願いが込められている。
- B 【イ】の葉の形から、まっすぐ伸びる願いを込め、子どもの産着に用いられている。【イ】の葉の形を幾何学的に表現した模様で、成長の早い【イ】にあやかって子どもの健やかな成長を願う意味がある。
- C 色の違う正方形を交互に並べた模様であり、歌舞伎役者の佐野川【ウ】が袷に用いた。柄が途切れることなく続いて行くことから、繁栄の意味が込められており、縁起の良い模様として用いられている。
- D 両端のとがった長楕円形を4つつなぎ合わせて円形状にして四方に連続させたもので、中に花を配した「花【エ】」と呼ばれる文様が多い。円形が連鎖する形に、円満や調和などの願いが込められている。

	ア	イ	ウ	エ
1	青海波	菱	市松	籠目
2	流水	桑	格子	七宝
3	立涌	桐	万菊	紗綾形
4	青海波	麻	市松	七宝

② 次の文のE～Gに入る語句の組合せとして正しいものはどれか。1～4から一つ選べ。

解答番号は

19世紀後半イギリスでおこった 運動は、産業革命以後失われつつあった手仕事による上質な物作りを見直し、生活と芸術の一体化をめざした。その中心人物である の思想と実践は、イギリスはもちろん海外へも広がり、アメリカでは らによる新たな展開をみせた。

著作権保護の観点により、
本作品を掲載いたしません。

出典：
ウィリアム・モリス
「いちご泥棒（テキスタイル）」
ウィリアム・モリスの世界HP
いちご泥棒 | ウィリアム・
モリスの世界

作者Fの作品

著作権保護の観点により、
本作品を掲載いたしません。

出典：
フランク・ロイド・ライト「落水荘」
落水荘 - Wikipedia

作者Gの作品

	E	F	G
1	アール・ヌーヴォー	エミール・ガレ	ヴァルター・グロピウス
2	アーツ・アンド・クラフツ	ウィリアム・モリス	フランク・ロイド・ライト
3	バウハウス	パウル・クレー	エミール・ガレ
4	ナビ派	フランク・ロイド・ライト	ル・コルビュジェ

(2) 次の①～③について、各問いに答えよ。

① 電動系のこぎりの刃にはいろいろな種類があり、切る材料によって使い分ける必要がある。次のうち、木工用として最も適している刃はどれか1～3から一つ選べ。解答番号は

1	2	3
<p>著作権保護の観点により、を掲載いたしません。</p> <p>出典： 電動系のこぎり 道具の使い方 アーテックHP 教育技法資料集 / Iまいの板からB / わたしはデザイナーB</p>		

- ② 次に示された「電動系のこぎりの使い方」のうち、誤っているものはどれか。1～5から一つ選べ。解答番号は

「電動系のこぎりの使い方」

- 1 刃を取りつけるときは、必ずプラグがコンセントにささっていないことを確認し、プラグをさしたときに急に動いてしまわないよう、本体の電源スイッチは切っておく。
- 2 材料を切る時の姿勢は、電動系のこぎりの正面にまっすぐ立つようにする。
- 3 切る材料の線の引き方は、刃の幅を考えて仕上がり線の2～3mmはなれたところに補助線を引き、補助線の上を切るようにする。
- 4 刃の取り外しは、必ずプラグをコンセントから抜いてから行い、折れたり曲がったりした刃は空きビンなどに入れ、ひとつの場所に集めて管理する。
- 5 使用後は必ずプラグをコンセントから抜き、刃を取り外す。小ぼうきや刷毛などで、木くずをきれいに取りのぞいておく。

- ③ 次に示された「用具の使い方」のうち、正しいものはどれか。1～5から一つ選べ。解答番号は

「用具の使い方」

- 1 両刃のこぎりは、木目に沿って切るときは、縦引きの刃のほうを使い、木目を断ち切るように切るときは、横引きの刃のほうを使う。
- 2 金づちで釘を打つときは、打ち始めは頭の丸みのある方で打ち、打ち終わりは、頭の平らな方で打つなどして、しっかり打ち込む。
- 3 銅板レリーフのように金属を打ち出す場合は、銅板を砂袋の上に置いてたがねで打ち出し、細かい部分はいもづちで打ちだす。
- 4 紙やすりは数字（番手）が小さいほど目が細かく、大きいほどあらかくなる。あらいものから順番に使うと、表面が滑らかになる。
- 5 木版画で彫刻刀を使う際、輪郭線や鋭い線を彫るときは、三角刀を使い、細く鋭い線や狭い場所を彫るときは、切り出し刀を使う。

(3) 次の①～②について、各問いに答えよ。

① 次のH～Jについて示した以下の文章の【ア】～【エ】に入る語句の組合せとして正しいものはどれか。1～4から一つ選べ。解答番号は

<p>著作権保護の観点により、 本作品を掲載いたしません。</p> <p>出典： 作者不詳「火焰型土器」 ColBase 国立文化財機構所蔵 品統合検索システム</p>	<p>著作権保護の 観点により、 本作品を掲載 いたしません。</p> <p>出典： 作者不詳「みみずく土偶」 ColBase 国立文化財 機構所蔵品統合検索シ ステム</p>	<p>著作権保護の観点により、 本作品を掲載いたしません。</p> <p>出典： 岡本太郎「縄文人」 岡本太郎・縄文から現代へ (川崎市岡本太郎美術館) 美術手帖 美術手帖HP</p>
H	I	J

旧石器時代、日本列島に住む人々は、狩猟生活をしていた。やがて、縄文時代になると、一つの場所で定住化するようになり、Hのような【ア】土器などが作られた。【ア】土器は、主に【イ】県近辺で発掘された。また、Iのように女性をかたどったとされる【ウ】は、装飾性に富み、日本美術のはじまりをみることができる。現代においても、【ア】土器に出会い、感銘を受けた作家【エ】がJのような彫刻作品を制作した。

	ア	イ	ウ	エ
1	火焰型	沖縄	埴輪	ヘンリー・ムーア
2	陽炎型	青森	埴輪	岡本太郎
3	陽炎型	兵庫	土偶	イサム・ノグチ
4	火焰型	新潟	土偶	岡本太郎

② 次のKとLは、同時代に描かれた美術作品である。これらの作品にまつわるエピソードのうち、誤っているものはどれか。1～4から一つ選べ。解答番号は

著作権保護の観点により、
本作品を掲載いたしません。

出典：
狩野永徳「唐獅子図屏風」
ルネサンス美術／10分でわかるアート - Sfumart
SfumartHP

K

著作権保護の観点により、
本作品を掲載いたしません。

出典：
ラファエロ「アテネの学堂」
ルネサンス美術／10分でわかる
アート - Sfumart SfumartHP

L

- 1 Kの作品が作られた頃の日本は、安土桃山時代であり、富と権力を得た大名や町衆が、創造的なエネルギーを美術の分野に注ぎ始めるようになった。Kの作品に代表されるように、豪華な装飾が施された美術が流行した。
- 2 Lが描かれた当時、西洋では「ルネサンス」と呼ばれる革新的な文化活動が発展した。ギリシャ・ローマ時代の自由な考え方を尊重し、ヘレニズム美術やローマ美術の写実的表現をめざした。
- 3 Kの作者である尾形光琳は、織田信長、豊臣秀吉という天下人に仕え安土城、聚楽第、大坂城などの障壁画を制作した。光琳が力を振るったこれらの代表的な作品は、建物とともに滅びてしまったものが多く、真筆とされる現存作品は比較的少ない。
- 4 Lの作者であるラファエロは、壁に直接絵を描く技法の一つで、生乾きの壁に顔料を水で溶いて描く「フレスコ」という技法を使い、Lの作品を完成させた。

(4) 次の①～②について、各問いに答えよ。

① 次に示された「日本の伝統色」の組合せのうち、誤っているものはどれか。1～4から一つ選べ。解答番号は

「日本の伝統色」

	色の名前	色味	季節
1	橙色 (だいだいろ)	鮮やかなオレンジ	春
2	茄子紺 (なすこん)	紫みの濃い紺	夏
3	桔梗色 (ききょういろ)	鮮やかな青紫	秋
4	銀鼠 (ぎんねず)	銀色がかった明るい灰	冬

② 次に示された「色の効果や配色」についての説明のうち、誤っているものはどれか。1～5から一つ選べ。解答番号は

「色の効果や配色」

- 1 みかんを赤いネットに入れることで、黄色の色味が変わって見えることを、色の同化という。
- 2 「鮮やか」「鈍い」「明るい」「暗い」のような色の調子のことを、トーンといい、明度と色相の違いにより分類される。
- 3 青や紫などの寒色かつ明度の低い色で、実際より後ろにあるように見える色のことを後退色という。
- 4 色の見えやすさのことを視認性という。背景の色との明度差が大きいほど視認性が高くなる。
- 5 明度差の少ない色の組み合わせで見えやすくするには、色と色の間に明度差の大きい色を入れるとよい。

3 次のM～Rについて、以下の問いに答えよ。

(1) M～Qについて、それぞれの「美術様式または芸術運動」と「作風の特徴」について説明したものについて、以下の枠内の選択肢の中から、「美術様式または芸術運動」については、**ア～オ**から一つ、「作風の特徴」については、**あ～お**から一つ、それぞれ選び、記号で答えよ。

著作権保護の観点により、
本作品を掲載いたしません。

出典：
パブロ・ピカソ
「アヴィニョンの娘たち」
【作品解説】パブロ・ピカソ
「アヴィニョンの娘たち」-
Artpedia アートペディア/ 近現代美術の百科事典・データベース
アートペディアHP

M

著作権保護の観点により、
本作品を掲載いたしません。

出典：
クロード・モネ「ジヴェルニー
の日本の橋と睡蓮の池」
【美術解説】クロード・モネ「自然
の色彩と光を描く印象主義の創
設者」- Artpedia アートペディア
/ 近現代美術の百科事典・データ
ベース アートペディアHP

N

著作権保護の観点により、
本作品を掲載いたしません。

出典：
グスタフ・クリムト「接吻」
【作品解説】グスタフ・クリムト
「接吻」- Artpedia アート
ペディア/ 近現代美術の百
科事典・データベース
アートペディアHP

O

著作権保護の観点により、
本作品を掲載いたしません。

出典：
ジョルジョ・デ・キリコ
「通りの神秘と憂愁」
【作品解説】ジョルジョ・
デ・キリコ「通りの神秘
と憂愁」- Artpedia アー
トペディア/ 近現代美術の
百科事典・データベース
アートペディアHP

P

著作権保護の観点により、
本作品を掲載いたしません。

出典：
ディエゴ・ベラスケス
「ラス・メニーナス」
【作品解説】ディエゴ・ベ
ラスケス「ラス・メニー
ナス」- Artpedia アート
ペディア/ 近現代美術の
百科事典・データベース
アートペディアHP

Q

著作権保護の観点により、
本作品を掲載いたしません。

出典：
エドガー・ドガ
「踊り子たち、ピンクと緑」
西洋芸術の巨匠と葛飾北斎。
東西アートの“そっくり”が
共演 - T JAPAN: The New
York Times Style Magazine
公式サイト The New York
Style Magazine Japan HP

R

「美術様式または芸術運動」

ア 印象派 イ 形而上絵画 ウ キュビズム エ 象徴主義 オ バロック

「作風の特徴」

あ 人間の内面世界、感情、想像力など、目に見えないものを暗示的に表現する作風
い 物体を幾何学的な形に分解し、複数の視点から同時に描く作風
う 光と色の瞬間的な変化を捉えた鮮やかな色彩と柔らかい筆致で描く作風
え 劇的な光と影のコントラストと動的な構図で描く作風
お 誇張された不自然な遠近表現、非日常的な、幻覚的な光と影のコントラストで描く作風

(2) M、O、Rの作品の作者名をそれぞれ答えよ。(フルネームでなくてもよい)

(3) 19世紀中頃の万国博覧会(国際博覧会)をきっかけに、西洋の芸術や文化が日本の美術、工芸、デザインから影響を受けた現象の名称を答えよ。

(4) OやRは、(3)の現象に影響を受けたとされるが、OまたはRいずれかの作品を選択したうえで、その作品の特徴について(3)の現象の影響をふまえて簡潔に述べよ。

4

次の問いに答えよ。

<p>著作権保護の観点により、本作品を掲載いたしません。</p> <p>出典： プニョプニョピン プニョプニョピン コクヨ公式 ステーションナリーオンラインショップ コクヨオンラインショップHP</p>	<p>著作権保護の観点により、本作品を掲載いたしません。</p> <p>出典： Casta（カスタ） 【楽天市場】ユニバーサルデザイン☆カ タネットはさみ HARAC Castaカスタ：エ フシーインテリア 長谷川刃物株式会社</p>	<p>著作権保護の観点により、本作品を掲載いたしません。</p> <p>出典： シャンプー・コンディショナーの 「きざみ」 花王 誰にでも使いやすいユニバーサル デザイン容器・道具の開発 花王株式会社</p>
---	---	--

- (1) 上の写真のように、性別や年齢、障がい、能力、言語を越えてあらゆる立場の人が公平に使えるように配慮されたデザインのことを何というか答えよ。
- (2) (1) のデザインを提唱したロナルド・メイス博士を中心に、建築家やデザイナー、技術者、研究者などで構成されたグループにより、基本要件として「7つの原則」がガイドラインとして示された。その「7つの原則」のうち、2つを答えよ。
- (3) (1) のデザインを取り入れた授業として、「すべての人の生活を快適にする商品開発をしよう」という題材名で実施しようと考えた。まず、導入にあたって、(2) の「7つの原則」の観点で、身の回りのもののデザインを鑑賞することにした。一つのものについて複数の情報を比較し、強みや弱みを分析するために最も適している方法はどれか。以下のア～オから一つ選べ。
- ア マッピング イ ピラミッドチャート ウ フィッシュボーン
 エ ベン図 オ レーダーチャート
- (4) (3) の題材名で授業を行う際、「中学校学習指導要領（平成29年3月告示）第2章 各教科 第6節 美術 第2 A 表現（1）イ(ウ)」に示されている内容をふまえ、表現の活動において、どのような評価規準を設定することが考えられるか、簡潔に答えよ。なお、授業を実施する学年は、第1学年または第2学年及び第3学年のどちらでもよいものとする。

